

自転車社会の環境改善を目指して No.27

自転車サービス“ナビチャリ・プロジェクト” 国際展示会での経験から 現在までの取り組み

文

特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会会員
有限会社 forte 取締役社長 葛西 純

事務局：〒 141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4 階
TEL 080-3918-2932
URL <http://www.cyclists.jp/>



皆さん、こんにちは。

青森県に本社を置く有限会社 forte の葛西と申します。約10年ほど前から、地域課題解決をビジネスとする起業家を目指し、多くのことに取り組んできました。そしてようやく、4年ほど前、手軽に、そして楽しく地域観光を楽しむ仕組みはできないかと考え、自転車で観光を楽しむ仕組み「ナビチャリ」にたどり着き、開発に着手いたしました。

自転車での観光をサポートする新サービス

「ナビチャリ」とは、その名前のとおり「ナビ」＝「道案内」+「チャリ」＝「自転車」のことです。簡単にいうと、自転車の位置情報にあわせ、音声で道案内と観光案内をしてくれるシンプルなサービスです。

基本設計コンセプトは「簡単」。誰でも操作できる簡単インターフェースをつくること。また、ナビ機能の概念もカーナビとは異なり



「ナビチャリ」の基本構成

ます。カーナビは目的地までの最短コースを出力ナビしますが、ナビチャリは初めてその土地を訪れた方に、自転車で走ってもらいたい快適コースを細かくナビします。素敵な景色や風や匂い、お食事処、遊びどころ、危険を避けた安全な自転車道など、運営者からのおすすめコースを詳細にナビします。ガイドブックにはない着地型観光、町の風景や匂いやふれあいを楽しめるローカルツーリズム「セレンディピティ（幸福な偶然）な旅」を提供します。

ユーザーに提供するサービスは以下の5つの機能です。

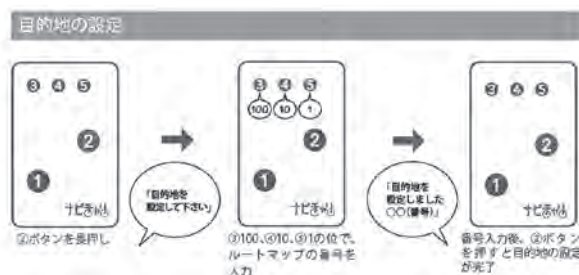
- ①観光スポットまで音声(多言語)でナビゲーション
- ②4カ国語までガイドが可能です
- ③観光ガイドをその場で案内
- ④周遊した観光ルートを出力できる
- ⑤自分のペースで観光地をまわれる
- ⑥骨伝導ヘッドセットで安全・快適ナビルート設定は紙の観光ルートガイドマップから行きたい番号を選び、ナビチャリ端末のボタンで行きたい場所の番号の数を押し、最後に

“NAVI”ボタンを押すとルート設定が完了します。

目的の自転車コースを走りだすと、ガイド案内の音声流れ始め、その後道案内とあわせて観光案内が開始されます。走行中におすすめのコンテンツ(観光施設や見どころなど)に近づくと、自動的にガイドのお知らせが入ります。もっと詳しく聞きたい場合は、ナビチャリ端末の“GUIDE”ボタン



「ナビチャリ」での地域周遊観光のイメージ



「ナビチャリ」簡単ルート設定



骨伝導音声ナビ・ガイド端末「ナビチャリ」



ドイツ、ミュンヘン国際展示会「electronica」の風景

を押すと、さらに詳細な観光施設の情報を聞くことができます。音声のため、長い説明文も気楽に聞き流す感じで案内を聞けるので、快適です。

ユーザーの自転車走行時には五感を妨げないよう、骨伝導ヘッドセットの音声ナビを採用していますので、安全に快適に音声情報をしっかりと聞くことができます。もちろん、耳からの音も入ってくるので、車の音や緊急車両の音も聞こえ安全です。さらに、ナビ&ガイド音声は、どこの国の言葉でも、どこの方言でも再現できる多言語対応。英語はもちろん、関西弁や博多弁にも対応可能です。

海外での展示経験から 新たなサービスが誕生

ドイツ、ミュンヘンでの国際展示会出展の経験は、自分たちのプロジェクトが、自転車文化のより発達したヨーロッパで、どのように評価されるかを自分たちの目で確認することが目的でした。

まず率直な感想は、日本と違って反応がストレートで、より積極的な要望を求めてくること。自転車にいろんなものをつけるのは批判的かと展示会当初は思っていたのですが、反応は逆で、“GPS通信機能”、“電

動アシスト自転車”、“骨伝導方式での音声ガイド&ナビ”の機能説明と実際のデモ体験をしていただいた時の反応はととても好意的で、ドイツの高専学生たちは「コッテンドウ〜!!」と最後にはカタコトの日本語で笑いながら、いろんな人をつれて何度もブースを訪問してくれました。

国際展示会というだけあって、ドイツ、イギリス、フランス、アメリカ、メキシコ、その他多くの外国人の方々にブースを訪問していただき、とても刺激的な経験でした。国際展示会での経験は、自分たちのプロジェクトのサービスベクトルが確認できたこと、また、サービスニーズを客観的に評価できたことが非常に大きな収穫だったと思っています。

その後、多くの地域で、トライアルや実導入運営を重ねて、システムの開発・改修、運営ノウハウを重ねてきました。その成果として生まれたサービスが、“骨伝導通話ヘルメット「e-Voice」”です。平成25年度「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(ものづく

り、商業・サービス)」の事業を活用し、試作開発しました。自転車に乗ながら骨伝導で仲間と通話できればもっと楽しくなるのではないかとこの発想から誕生いたしました。

「e-Voice」には大きく2つの機能が実装されています。1つはスマートフォンを通じてハンズフリーで通話ができること、2つ目はこめかみのセンサー部から心拍数が取れること。スマートフォンに多くインストールされている、LINEやSkype等のIP通信ソフトで仲間と無料通信できるだけでなく、スマホアプリにより、脈拍データからカロリー消費や走行時の負荷を数値化したりすることも可能になります。

自転車ヘルメットをちょっと進化させることにより「ヘルメットをかぶる」人が増えればいいと考えています。走行中に骨伝導で音楽を聞いたり、仲間とコミュニケーションを取ったりできれば楽しいアイテムになるでしょう。また、サイクリングをこれから始めようと考えているシニアの方にもおすすめです。こめかみのパッドから心拍データを取得することにより、健康増進、予防医療にも活用できます。現在、ようやく満足のいく試作機も完成し、国際特許出願中の段階です。

多くの方のモニタリングを重ね、さらに製品のクオリティを高めることで、2015年春の量産化を目指しています。

PP

「自転車検定」を始めました



インターネットで、いつでも受験できる「自転車検定」サイトを設けました。無料のお試し検定も行っています。自転車活用推進研究会のホームページ〈<http://www.cyclists.jp/>〉からどうぞ。

<参考資料> ナビチャリカタログ http://forte-inc.jp/navi-chari/pdf/navichari_teian20131128.pdf
 なびチャリFB <https://www.facebook.com/navichari.forte>
 骨伝導通話ヘルメット「e-Voice」動画(WBSとれたま) http://www.tv-tokyo.co.jp/mv/wbs/trend_tamago/post_76397/